

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、令和8年度現在1年9名、2,3年32名の大変小規模校になってしまっている。その主な原因として考えられるのは、区選択制によって、本校を選ばずに長吉中学校行くことである。そのために教科活動や学校行事が制限されることや、部活動が成立しないこと、PTA活動が難しくなっていることなど負の連鎖につながり、学校運営が大変難しくなっている。

また、本校を選択する生徒は、学力面でしんどい生徒や生活指導上の課題などを有するだけではなく、さまざまな支援を要する生徒の割合が大変高く、きめ細かな指導を必要とし、大阪市教育委員会には人事面で配慮をいただいているところであるが、生徒や保護者の要望に応えることで、教職員は毎日様々な対応、苦勞をしているところである。

学力面ではいわゆる「読み、書き、そろばん」をきっちりさせるために、一人一台端末などのICTの活用・普及が進んでいなかったなか、令和7年度終わりにスタディーサプリを導入するなど生徒の学習意欲と端末の利用率を高めることに一定の成果を上げてきたところである。

また、不登校の割合が大変高いため、令和8年度からはスペシャルサポートルームを導入し、改善に向け進みだしてきている。

小規模校であるがことでデメリットがたくさんあることも事実ではあるが、各教科工夫を凝らすことで一定の学力向上がみられているところなので、この4年間は本校を選ぶメリットをより発信し、多くの生徒に選んでもらえるような学校を目指す。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】(最重要目標1)**

- ・年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、80%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校の生徒の割合を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- ・年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】(最重要目標2)

- ・年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】(最重要目標3)

- ・年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を80%以上にする。
- ・時間外勤務時間数について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。
- ・年度目標アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を75%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】（最重要目標1）

- 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがある」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】（最重要目標2）

- 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を40%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】（最重要目標3）

- 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。
- 年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立長吉六反中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】(最重要目標1) ○年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 ○年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがある」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【施策 1-2】<不登校対策いじめ防止委員会> 生徒たちとの学校生活を通して、担任などの学年の教員を中心に、生徒の持つ悩みに対してともに向き合っていけるような関係を構築する。	
指 標 ・年度末の校内調査における、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。	
取組内容②【施策 1-3】<生活指導部> 生徒集会の講話や朝のあいさつ運動、登校指導等を年間通して行い、規範意識の育成、基本的な生活習慣の確立に努める。	
指 標 ・校内生徒アンケートにおいて「学校の決まりや規則を守っている」と答えた生徒の割合を、90%以上にする。	
取組内容③【施策 2-5】<芸術鑑賞担当> 人格形成の基礎を培うため、様々な本物(芸術作品・芸能・音楽)に触れさせ、個性や想像力、自分を表現する力をはぐくみ、生徒の情操を豊かにする。	
指 標 ・校内生徒アンケートにおいて「本物に触れることのできる芸術(演劇や古典芸能や音楽)鑑賞に興味がある」と回答した生徒の割合を年度当初より向上させる。	
取組内容④【施策 2-3】<主任会> 修学旅行や一泊移住などの体験学習を実施し、自然や他者との触れ合いを通じ、協力しながら目標を達成することにより、自己肯定感の醸成、社会性や共に生きる力の育成を図る。	
指 標 ・「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒の割合を90%以上にする。	
取組内容⑤【施策 2-3】<道徳・人権教育委員会> 年間指導計画に基づき、道徳教育、人権教育を推進する。	
指 標 ・校内生徒アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考えたことがある」と回答	

した生徒の割合を90%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p data-bbox="199 297 438 331">< 中間進捗状況 ></p> <p data-bbox="199 383 379 416">< 達成状況 ></p>	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立長吉六反中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】(最重要目標2) ○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を40%以上にする。 ○年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【施策 4-2】<各教科> 習熟度別少人数指導等個に応じた指導や発達段階に応じた英語のコミュニケーション能力の向上、ICTの活用、「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業づくりを推進する。	
指 標 校内生徒アンケートにおいて「授業はわかりやすい」と答えた生徒の割合を90%以上にする。	
取組内容②【施策 4-1】<管理職> 学校元気アップ本部事業を活用し、放課後学習・テスト前・長期休業中の学習会を実施と、家庭学習教材を配付し、基礎学力および家庭学習の習慣を身につけさせる。	
指 標 校内生徒アンケートにおいて、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目について「している(どちらかといえばしている)」と答える生徒の割合を増加させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<中間進捗状況>	
<達成状況>	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立長吉六反中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 (最重要目標3) ○年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。 ○時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。 ○年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上とする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【施策 6-1】 <管理職> 1人1台学習者用端末を活用し、自学自習の習慣がつくよう促す。	
指 標 校内生徒アンケート「自ら進んで勉強することが多いと思う(学習者用端末の利用なども含む)」に肯定的に答える割合を50%以上にする。	
取組内容②【施策 7-1】 <管理職> 部活動などに起因した長時間労働を軽減し、教職員が生き生きと働くことができるようにする。	
指 標 1か月当たりの時間外勤務時間が3ヶ月平均で80時間以上になる教職員を0人にする。	
取組内容③【施策 8-3】 <図書館担当・管理職> 元気アップ本部事業と連携し、図書室をより使いやすく整備し、全曜日かつ週7回以上開館する。	
指 標 校内生徒アンケート「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上とする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<中間進捗状況>	
<達成状況>	
次年度への改善点	

